

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	外出支援等、ご家族の思い(外出しすぎ)と隔たりがある。利用者本位の考え方、支援方法を理解されていない。	運営推進会議、ご家族の便りを通して、考え方、支援方法を理解していただく。	あらゆる機会を通して、認知症に対する理解をしていただき、利用者さんの思いも理解していただくように、認知症についての医療介護の情報誌を作成する。	12ヶ月
2	26	ハンドベルをやりたいと意思表示された利用者さんがいるので、その思いをかなえて社会参加できるようにしたい。	ハンドベルのグループを作って演奏会に参加する。	ハンドベルの指導の先生を探し、法人内外でのグループを作って、演奏会を開く。	12ヶ月
3	14	引き続き、同じGHの施設を見学したい。	他県のGHを見学する。	全国GH連合で、知ったGHに連絡して見学する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。